

留学報告書

国際学部外国学科スペイン語専攻4年 中島道乃

私は、2024年9月～2025年2月までの6か月間、スペインのサンティアゴデコンポステーラ大学に留学しました。サンティアゴデコンポステーラは、スペイン北西部のガリシア州にある街です。世界遺産に登録されている旧市街の中心には人々の信仰と崇拝の象徴である大聖堂があり、各地から大聖堂を目指す巡礼者が訪れます。年中、雨や曇りが多い地域でしたが、街には観光客や学生が多く、熱気がありました。

サンティアゴデコンポステーラには自然も多く、気分転換のためによく散歩をしました。人々も温かく、お店や駅などで困ったときに声をかけてくれるなど親切さにたくさん助けられました。

私は、サンティアゴデコンポステーラ大学の文献学部にも所属し、ポルトガル語、ガリシア地方で話されているガリシア語の授業に参加しました。ガリシア語の授業では、言語だけでなく、ガリシア文化、文学、歴史も学び、自分が住んでいる地域・文化への理解が一層深まりました。ガリシア語の授業は月に1～2回ほど、確認テストがあったり、先生の説明がすべてガリシア語だったりで、理解するのはとても大変でした。どちらの授業も定期試験では、作文の試験がありとても苦労しました。現地の学生に混ざり、他言語を学ぶのはかなり大変ではありましたが、担当の先生やクラスメイトに支えてもらい、無事修了することができました。

学部外では、大学付属の言語センターでスペイン語クラスに参加しました。同じようにサンティアゴデコンポステーラで学ぶ外国人留学生とともに受講しました。授業内容は、各国の政治や環境問題についてスペイン語で会話するなど、複雑で難しく、うまく説明ができず悔しい思いもしました。いろいろな国の生徒がいるので、スペインと各国を比べたりして、それぞれの国への理解が深まりました。

授業後には、クラスメイトとカフェでコーヒーを飲んだりして交流を深めることができました。授業のレベルの高さに悩むにもありましたが、先生やクラスメイトがとても優しくしてくれたので、最後まで楽しく通えました。

時間のある時は、友人と食事に出かけました。街には多くの飲食店があるので、毎回違うお店に行って、友人や店員さんとの会話を楽しみました。また、たまにバルに行き、サッカーの試合を友人と見ました。サッカーの試合がある日は、バルが熱気に溢れていました。

半年という短い期間ではありましたが多くの場所を訪れることができました。スペインの北西部に住んでいたのもので、別都市への移動は大変で、トラブルもありましたが、自分で解

決する力が身に付きました。スペインは都市ごとで、建造物や景観が違うのでとても良い気分転換になりました。

留学期間を経て、問題を自分で解決する力や積極的に人に聞く力が身に付きました。授業についていけるように、予習・復習の時間を多くとり、メリハリを意識して過ごしました。そのおかげで、旅行の時はよりリラックスして過ごせました。

スペイン人や外国人に、日本について聞かれたときにうまく答えられなかったときや、歴史の話、文化の話をしているときについていけないことがありました。その時に、日本のことやスペインのことをもっとしっかり学んでおくべきだったと感じました。今では、色々なニュースに目を通したり、スペインについての本を読んだりして、何を聞かれても答えられる準備をしています。

思うようにいかないことや、大変な時もありましたが、現地で知り合った多くの人に支えてもらい、とても充実した時間を過ごせました。スペイン語の学習だけでなく、スペイン人や外国人と知り合い、異文化理解をすることができました。とても良い経験になりました。